

2023年 ねじめ正一氏 選

高岡山町筋土蔵造りフェスタ協賛

作品募集
全国公募

第20回 高岡・山町

ポエム大賞

「高岡・山町ポエム大賞」は、第20回を迎えました。今年も山町ゆかりの詩人、ねじめ正一さんが選者を務めます。みなさんの力作、自信作をお待ちしています。

累卵

よしだ まお
星椋国際高等学校1年 吉田 栄央 さん

偽りの名前 偽りの年齢 偽りの言葉
それらをプロフィールに打ち込んで
唯一偽りではない乳房などを撮影して
一言(幸せでした)と書いて
気持ちばかりのハートを添えて
飛行機のボタンを全世界に飛ばしたら
私の裸体に文字が群がってきた
教科書でしか見たことのない国の人が
私を褒めてくれた

胃に留まる気配がない
(かわいいね) (すきだよ)を食べる
サイズの合わない靴を履き 重い腰を上げ
玄関の扉のすりガラス越しに朝日を浴びた
いってきますを言わなくなったのは
いつからだろう?

もはや身体の一部と化してしまった
リュックサックをおろす
ねえ、と声かけて リビングに行くと
珍しくエプロンを着たお母さんがいて
手には私のスマホが握りしめられてた
私は今すぐにこの世界を初期化したかった

涙の結晶が 滯んだ河に浮かぶ
それは一向に溶け切らず
それを誰もすくおうとせず
そのうち結晶は形を失った

沈みかけの夕日が意図せず私を蝕んでいく
太陽には常に居場所があって
世界から必要とされていて
科学的な命日まで持つ幸せもの

あるとき クラスメイトが
「未来の自分が想像できない」と言った
操り人形みたいに
周りと一緒に頷く私は嘘をついてた
午前一時に机の灯りを消すと
隣の奥深くから浮かび上がってくる
とっくに賞味期限が切れた殻に閉じこもり
とんとん拍子で腐敗して
「ごめんなさい」も言わずに捨てられる
これ以上割りようがない ひとつだけの卵

きれいなものも
きたないものも
どうあがいたって 私の目には見えてしまう
だって 所詮ここはノンフィクション

絵／北山知絵子さん

応募規定

資格 全国の小・中・高校生 (個人、団体どちらでも可。18歳以下)

募集作品 未発表の詩で1人2編まで。題材は自由。家族や日常生活、学校生活、恋や夢、高岡や山町について書いたものなど、自由なテーマでお書きください。

※本大会への応募作は他の公募型コンクールへ応募できません。
※応募作品の著作権は主催者に帰属します。

書き方 400字詰め原稿用紙3枚以内。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を明記する。

応募方法 郵送・FAX・HPで下記宛先にご応募ください。
〒933-0911 富山県高岡市あわら町13-50
北日本新聞社西部本社「ポエム大賞」係
TEL.0766-22-2226 FAX.0766-25-7775
HP kitanippon.info/takaoka/yamacho-poem/

締め切り 2023年 9月14日(木) 必着

◆主催 「高岡・山町ポエム大賞」実行委員会
(富山銀行、土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会、まちづくり会社・末広開発、北日本新聞社)
◆後援 富山県教育委員会・高岡市教育委員会・高岡商工会議所

表彰式
入賞作品
講評会(予定)

日時
11月26日(日) 午後1時(予定)

会場
富山銀行本店 BOTホール
富山県高岡市下関町3-1 TEL.0766-21-3535



講師 ねじめ 正一 氏

1948年東京都生まれ。81年、処女詩集「ふ」で詩壇の芥川賞といわれるH氏賞受賞。89年、小説「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。2004年、絵本「まいごのこどり」でひろすけ童話賞受賞。08年、小説「荒地の恋」で中央論文芸賞受賞。著書に「認知の母にキッスされ」「むーさんの自転車」「みどりとなずな」など。

発表 大賞、富山銀行賞、最優秀賞、優秀賞の作品は11月下旬、北日本新聞に掲載されます。

賞 大賞・北日本新聞社賞 1点(図書カード3万円分)
富山銀行賞 1点(図書カード1万円分)
小・中・高校で最優秀賞各 1点(図書カード1万円分)
優秀賞各2点(図書カード5千円分)
佳作各5点、奨励賞、学校賞

熱心に取り組んで
いただいた学校に
学校賞を贈ります。

詳しくは
HPをご覧ください

山町ポエム



◆お問い合わせ
北日本新聞社西部本社
高岡事業部 TEL.0766-22-2226